

動き出した

『平成27年度森の自然塾』

理事代行 岡本 浜夫

今年で森の自然塾は、14年目を迎へ、役員の一斉と全国体験活動指導者認定委員会・自然体験活動部会(NEAL)の認証を受け、生物多様性・自然環境保全の技術・指導法・森の安全に関わる内容を、月1回養成講座で学び、初年度にリーダー資格を取得。その後、インストラクターコースの「概論」と「演習」へ。

先ず「演習」を毎月「森の自然塾」「ふるさとの会催事」の場を活用して、指導者・スタッフが企画し、その演習として、先ず第1回を「森の自然塾『冒険隊』」の担当で、4月19日にX山で開催、児童12名が参加しました。

当日は、①全スタッフミーティング、②安全点検・清掃、③受付、④参加者の健康確認を行った後、自然塾を開始。①参加児童・スタッフ自己紹介、②主催者挨拶、③プログラムと安全注意、④準備体操、⑤X山の自然観察、『春の花さがしビンゴゲーム☆サプライズ付き』⑥手作りストロー・トンボと成果発表の飛ばし体験、⑦まとめと次回自然塾の案内を終え、スタッフ全員で後片付け・反省会後、解散しましたが、子供たちの、はずむ挨拶・爽やかな笑顔に接し、スタッフ一同安堵感を味わいました。

次回以降の予定は次のとおりですが、いよいよ新年度児童が参加してきます。

常に成功裡に進めるためには、これまで長年自然塾を担当して来られた先輩諸氏の支援が不可欠です。ご教授・現場支援をお願い致します。

森の自然塾開催予定(第3日曜日)

- ・探検隊(隊長:長谷 慎太郎)
2015年 7/19、11/15
- ・ふしぎ探し隊(隊長:二瓶 文博)
2015年 5/17、9/20
- ・冒険隊(隊長:伊達 人教)
2015年 4/19、8/16、12/20
- ・森の遊び隊(隊長:岡本 浜夫)
2015年 6/21、10/18
2016年 2/21

ふるさとの会と私

ふるさとの森自然観察会

代表 小林 敏孝

ふるさとの会に入会して早6年が過ぎました。最初は「森の教室養成講座」に入会し1年間学びました。その後日吉町に住んでいたの「日吉町内会」に前島理事長のすすめで参加し、今年でやっと100回パトロールも達成出来ました。会の多数の方々応援が励みです。「多摩に歩く会」では年間4回の行事などにかかわり、毎年正月の七福神も楽しく参加させてもらってます。他に「森の教室冒険塾」では、角田さんと一緒に5年間子供達の、指導と野鳥観察、セミの抜殻調査等色々活動を行ってきました。「姿見ホテルのタベ」では他の団体の方と協働で市民参加のホテルの実行委員等しております。

今年から「ふるさとの森自然観察会」の代表として国分寺市内を中心に植物観察の調査をする予定ですので会員の参加をお願いします。ふるさとの会は色々な会があり、多くの方と楽しんでいます。今後とも皆様よろしくお願ひします。

4月19日(日)自然塾スナップ



子供たちだけで植物観察!



子供たちの疑問に答えるスタッフ

災害対策と復興特別税について考える

泉山自治会会長

野川源流自然再生準備会行政協議副委員長
高橋 邦宏

自然の再生は、水害などの災害に強いまちづくりの要素と位置付けられています。東日本大震災の過酷な被害発生を受け、災害対策の必要性が改めて強調され、その認識と対策も強まっています。

その一環として、国民は、二つの復興特別税が課せられています。

一つは復興特別所得税です。課税所得の2.1%が25年間徴収されます。

二つは、住民税です。納税者一律千円徴収されます。10年間です。この住民税は、都、市に500円ずつ分配され、活用は防災対策に限定されます。

災害発生時は自助、共助が決定的です。その時に備えた力を日常的に積み上げ、地域の力を引き出すのは、地域の努力と公助の責任です。市の地域防災基本計画にある「防災まちづくり推進地区」が全市に広がり、災害に強いまちをつくるのが望まれます。復興特別税が、ふさわしく活用されるよう注目が必要ではないでしょうか。

「津波でんでんこ」の教訓

防災推進の街づくり仲間の会

広報委員長 荒川隆二

未曾有の被害が発生した東日本大震災から4年が経過しました。震災直後に被災地に行く機会があり映像とは別世界の景色を見ました。この山のような瓦礫はいつ無くなるのだろうか。その後、NHKでも放送された「釜石の奇跡・津波でんでんこ」で子供達を指導してきた群馬大学の片田教授の講演を聞く機会がありました。津波でんでんことは、大きな地震の後は必ず津波が来るから家族にもかまわず、各自でんでんばらばらに一刻も早く高台に逃げろとの教訓です。自分の命が助かれば後で家族に会うことができるからです。この教訓に基づいた訓練を震災の8面前より片田教授が指導しており、実際の震災時にその訓練に基づいた行動をとることができ、一人の児童も亡くなることはありませんでした。小さい頃からの防災に対する教育・訓練を継続することが、大人になっての防災に対する危機意識を、醸成する結果になるとの事です。

防災推進の街づくり仲間の会 加入者100世帯達成

代表代行 前島征武

平成24年10月28日に発起人10名で発足した「防災推進の街づくり仲間の会(略称 仲間の会)」は、今年4月2日に五十嵐憂二氏の加入で100世帯に達した。仲間の会は、日吉町1丁目・4丁目、西恋ヶ窪2・3・4丁目区域に「防災会設立」をめざし活動している。

この防災会設立に向けた国分寺市要綱第4条「国分寺市防災街づくり推進地区実施要綱」の要点を達成した。この会の目的は、「市民主体の防災環境づくり及び地域コミュニティづくり並びに災害に強い街づくりと人づくりを行うこと」にある。このまちづくり人づくりは、特定非営利活動法人国分寺市にふるさとをつくる会(略称ふるさとの会)を幹事団体とする8団体合同連絡会議に所属し、輪の広がりもめざす。

活動は、市立第九小学校を拠点に毎月第4日曜日午後2時から定例会議に一人でも多くの参加が期待される。連絡先042-322-1964 前島迄。

国分寺市の動植物調査 ふるさとの会も参加します

(調査目的)

市内の動植物の生息状況を調査し、希少種や外来種など、環境指標となる基礎データを整備し、活用する。また環境変化の指標となる動植物の目撃情報を市民から収集し、生きものへの関心を高めていく。

(調査期間)

平成27年度(27/4~28/3)

フィールド調査

<専門員調査>

・西恋ヶ窪緑地等5箇所
・環境変化の指標となる動植物8種
(オナガ・ツバメ・カブトムシ・アゲハ
チョウの仲間・ネジバナ・どんぐり類・
ニホンヤモリ・ヒキガエル)

<団体参加調査>

①ふるさとの会等7団体が参加

②調査拠点・日付

西恋ヶ窪緑地:5/15,8/3,10/2、1/8
姿見の池緑地:5/17,7/26,9/27、
1/8

<市民アンケート調査>

(広報)

①市報、HP、調査案内チラシ等を
全戸配布他

②小学校に配布

(アンケート配布・回収)

①メール、郵送、FAX、持参

②小学校に配布し、夏休み後に回収

合同連絡会議

今後の行事予定

9日(土) 幹事団体執行部会議

9:30 恋ヶ窪公民館

合同研修会

11:00 恋ヶ窪公民館

合同連絡会議

13:30 恋ヶ窪公民館

野川源流自然再生設立準備会

15:00 恋ヶ窪公民館

10日(日) 多摩に歩く会 下見

9:00 西国分寺駅改札

13日(水) 森の教室指導者養成講座

9:00 恋ヶ窪公民館

森の教室運営委員会

13:00 プレハブ会議室

16日(土) 日吉町町内会定例会

13:00 第五小学校相談室

17日(日) 森の自然塾

8:30 西恋ヶ窪緑地中央

(参加者は9:30)

環境ひろば

10:00 市民プール会議室

24日(日) 防災推進の街づくり仲間の会

14:00 定例会 第九小図書室

25日(月) 野川源流自然再生設立準備会

13:30 恋ヶ窪公民館

28日(木) 会報配布準備

14:00 恋ヶ窪公民館

(印刷は13:30~)

多摩に歩く会”多摩森林科学園&多摩御陵参拝”ウォーキングで

天皇皇后両陛下拝顔



御陵参道にて

(撮影 藤巻 登己 / 掲載確認 白木昭憲)

研修会のご案内

ふるさとの会設立の発端となった、西恋ヶ窪緑地(X山)の現状を踏まえ、原点に返って意義を共有したく、下記のとおり研修会を開催します。ふるさとの会及び関連団体幹部・委員の方が参加頂きたくご案内いたします。

日 時 27年5月9日(土)11:00~12:30

場 所 恋ヶ窪公民館

テーマ 西恋ヶ窪樹林地等整備方針等

講 師 前島征武理事長

信州の自然を取入れています

建築コンサル

(ふるさとの会会員無料相談)

賛助会員 文京区向丘1-5-7

(株)大気一級建築士事務所

電話 03-3812-6236

FAX 03-3812-6623

知事登録

般一24第118003号

一般建築お引受

田中工務店

八王子市美山町1847-1

電話 042 (651) 1285

FAX 同

エックスやま

本社はX山に位置します

自然環境保護に賛同

賛助会員 TEL 042-321-5441

国分寺市日吉町4丁目13番2

中央システム技研(株)

代表取締役 川野 誠

(長野県下伊那郡出身)

一賃貸マンションからホテル経営一

賃貸マンション1R~3LDK
貸事務所・貸店舗・月極駐車場

随時入居者募集

電話042(576)6656 FAX042(573)2474

〒185-0032 東京都国分寺市日吉町1-38-5
アメニティコウユマ第14ガーデン

株式会社

日吉興業